

原宿だより

発行

遠藤ボランティアグループ

代表 原山建郎

遠藤ボランティアグループ理念「四つの願い」

一 「心あたたかな医療」の実現をめざします。二 患者さんの声に耳を傾けます。
三 患者さんの目線で優しく寄り添います。四 ささやかなお手伝いをします。

皆様お久しぶりです。

お変わりないですか？

昨年3月に活動の休止を決めてから、一年九か月も経ってしまいました。こんなに長く休むことになるとは誰も思っていませんでした。今年10月になって感染者数の減少が続いている中、「ミーティングを開きませんか」と山崎洋子さんからの声が届きました。何人かのコーディネーターに尋ねたところ、皆さん賛成してくださったので、原山代表にお尋ねすると、「開きましよう」とのお返事があり、久しぶりにミーティング開催の運びとなりました。

10月26日火曜日の午後 らぶらすにてミーティングを開催いたしました。原山代表、副代表（天谷、印部、長島）東、萩原、堀越、山崎、8名の出席がありました。まずはそれぞれの活動場所の状況について分かっていることをお聞きしました。次に事務局の作業（総会、会員名簿や会計のことなど）についても話し合うことができました。

#ミーティング出席者の報告

*虎の門小児科（萩原）

病院からの連絡はありません。病院内の様子も分かりませんので担当の方に聞いてみます。私自身は少し在宅になったくらいで変わりなく仕事をしています。

*東京衛生病院（東）

チャプレンからの連絡はメールでもらっています。ボランティア活動についてとても熱心で「いつも繋がっています」という言葉をかけてくださいます。私はずうっと東京に出かけていなかったですね。今日は久しぶりに出かけてきたので少しワクワクです。

*クローバーのさと（山崎）

介護施設での面会は制限が続いています。板橋ボランティアセンター内で電話での傾聴が行われていて参加することになれば、そちらでの活動ができるかもしれません、利用できる方がどの程度いらっしゃるのか心配です。

*健康長寿医療センター（堀越）

所属しているハッピー文庫の担当の方にお尋ねすると「何も・・・」という返事。文庫の活動自体が終わることになるかもしれません。病院の建物は工事が入っているようですが、渋沢栄一コーナーがあり見学できるようになっています。

*さくら老人介護施設（印部）

施設に直接訪問したら随分静まり返った雰囲気、職員が入れ替わっていました。入所人数が増えて認知症の方も大勢いるそうです。家族面会は15分。外部からの接触は手紙一つすら断られる状況です。私は青梅に住んでいます。コロナ禍では多摩川へ遊びに来る人をたくさん見かけます。

*虎の門分院（長島）

この病院を受診しているメンバーが時々、図書コーナーを覗きに行ってくれています。病院に入るにはチェックを受け確認シールを服に貼ります。本の貸し出しは以前と変わりなく行われていて患者さんが利用しています。

*伊藤病院（天谷）

連絡はしていませんが、子どもを預かる活動ですので私たちがワクチン接種済みでも活動は難しいと思っています。私自身は出かけるのは買い物くらいで、ずーっと引きこもり状態です。



原山代表からの提言

昨年からの新型コロナウイルスの感染予防のため私たちの活動はお休みしていますが、遠藤ボランティアグループは来年40周年を迎えます。遠藤さんが亡くなって25年、顧問の遠藤順子さんも今年亡くなりました。会員の高齢化も深刻なので、この先どうするか考えていく時期に来ているのではないのでしょうか。

以前、奥川さんが私たちに「続けることが目的ではなく自分たちがどういう活動をしていくかが大事よ。」と語ってくださいました。それは例えば、ある時期に遠藤ボランティアを閉じて各自が地域のボランティアに入って活動するということもできる。「遠藤さんの提唱した『心あたたかな医療』の考えに基づいてボランティアを行うこと、専門家から学んで患者の心の在りようを知り相手を傷つけないようにケアをすること」遠藤さんのこの二つの思いを伝えるという役目を担いながら「今後うちのグループをどういう風にしていくか」それを考えていくことが必要になってきました。皆さんもご自身で考えてみてください。

♥ 今後の運営について ♥

来年度のスタートができるように準備を始めます。例年の作業とは違い、まずは会員各自へアンケートを取ることを考えています。皆さんの現在の状況または心境などをお聞きする内容になると思います。それに基づいて会員名簿を作成し活動できる体制を整えていきます。来年2月ころお手元に届くように作業を進める計画です。運営については主に副会長3人が主導して進めていますが、予測がつかない中で模索しながらやっておりますので、ご協力よろしくお願いします。 ♥ ♥ ♥

各係からの報告

- 募集** ホームページなどの問い合わせに3通のメールが届いたので活動休止の旨を伝えた。
- 講座** 昨年の講座は感染拡大前に開催できたので良かった。また学びの場を作っていきたい。
- 編集** 今回のミーティングを特集記事として原宿だより155号を発行する。
- 発送** 現在の会員数は何人ですか？発送するものがあればやります。
- ホームページ** 更新を控えていたが、村松静子さんの在宅看護研究センターLLPのHP上の原山代表のコラムを読めるようにリンクを貼り付けたので、皆さんホームページ開いてみてください。
- 会計** 2021年度の会計処理を行う。
※ミーティング会場のらぷらすを使用するため世田谷区けやきネットに登録しているが、今年更新のため手続きしました。

BOOK ENDOH



いつでも君のそばにいる
小さなちいさな優しい世界
リト@葉っぱ切り絵

Instagram、Twitter に毎日のように投稿する葉っぱ切り絵が注目を集める。自身のADHDによる偏った集中力やこだわりを前向きに活かすために、2020年より独学で制作をスタート。どこにでもある葉っぱの中に物語が広がり、思わず顔がほころんでしまいます。私は背景の空や雲も一緒に楽しんでいます。

事務局ミーティング日程

2月中に開催予定です。

♥ 編集後記 ♥

景品でいただいたクオカードをどこで使おうか考えていたら、有隣堂や文教堂でも使えることが分かり、とつても得をした気分です。年末になるので新しい手帳を買いました。一年があつという間ですね。